

社会資本総合整備計画														防災・安全交付金		令和07年09月16日	
計画の名称	鈴鹿市における下水道施設の改築・更新（防災・安全）																
計画の期間	令和０６年度　～　令和１０年度（5年間）												重点配分対象の該当				
交付対象	鈴鹿市																
計画の目標	下水道施設の適正な維持管理を行うことにより，安全・安心，快適な暮らしを実現し，良好な生活環境を創造する。																
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		130	A	130	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$		0	%		

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初		R10末
1	鈴鹿市下水道ストックマネジメント計画に基づく管路の点検・調査率を0%（R6当初）から8.2%（R10末）に増加させる。			
	鈴鹿市下水道ストックマネジメント計画に基づく管路の点検・調査率（％） ＝点検・調査済延長（m）/鈴鹿市下水道ストックマネジメント計画に基づく管路の点検・調査予定延長608,102（m）	0%	%	8%
2	鈴鹿市下水道ストックマネジメント計画に基づくマンホール及びマンホールふたの点検・調査率を0%（R6当初）から8.2%（R10末）に増加させる。			
	鈴鹿市下水道ストックマネジメント計画に基づくマンホール及びマンホールふたの点検・調査率（％） ＝点検・調査済箇所（基）/鈴鹿市下水道ストックマネジメント計画に基づくマンホール及びマンホールふたの点検・調査予定箇所20,270（基）	0%	%	8%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	管渠（ 汚水）	改築	下水道ストックマネジメ ント事業	点検・調査・計画策定	鈴鹿市	■	■	■	■	■	130		策定済
		ストックマネジメント計画																	
											小計						130		
											合計						130		

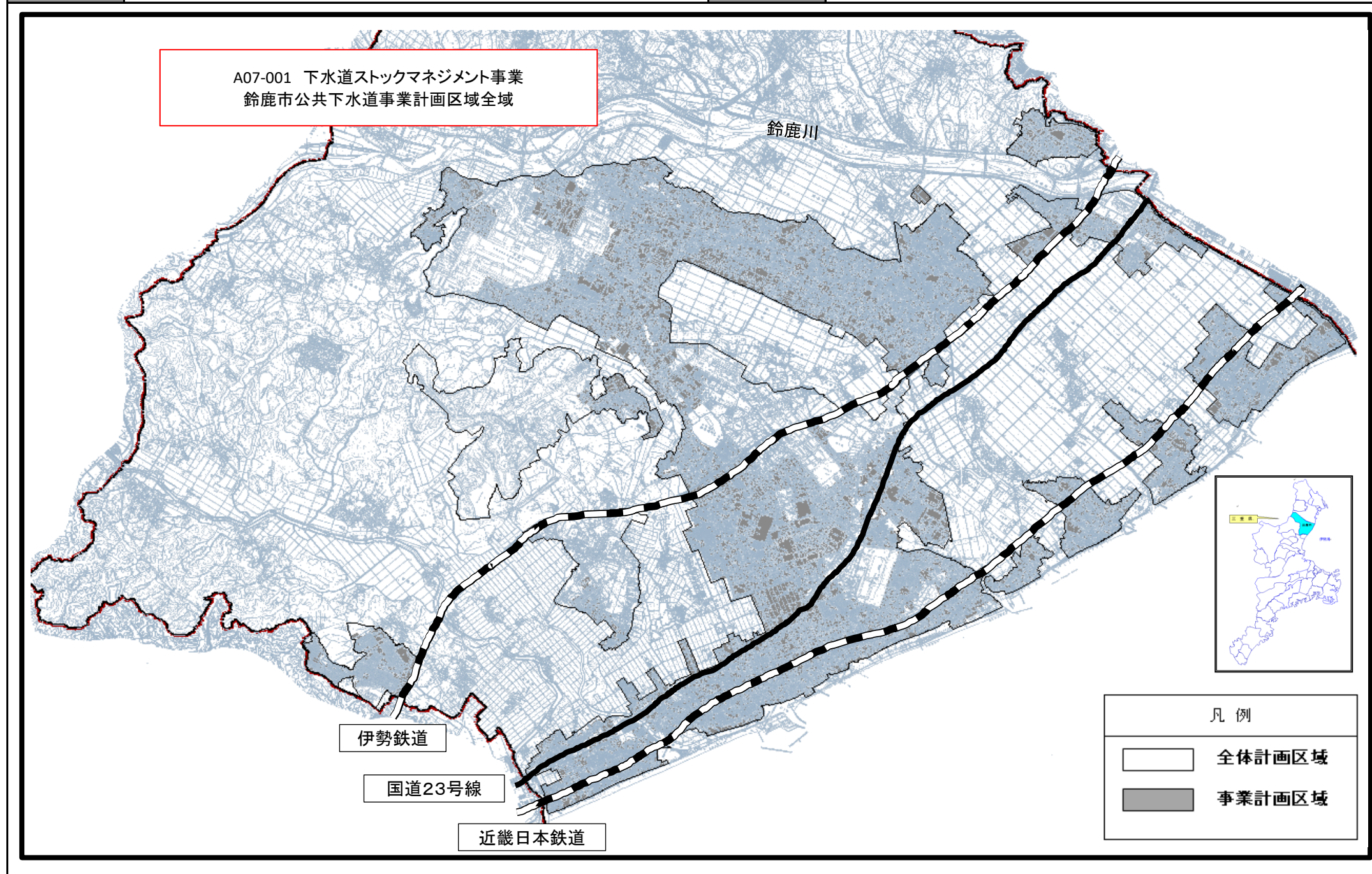
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	8				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	8				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	8				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

計画の名称	鈴鹿市における下水道施設の改築・更新（防災・安全）		
計画の期間	令和6年度 ～ 令和10年度（5年間）	交付対象	三重県鈴鹿市



事前評価チェックシート

計画の名称： 鈴鹿市における下水道施設の改築・更新（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 流域関連鈴鹿市公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 3) 関連する他事業の計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 4) 各種事業計画が策定され、適合している。	○
I. 目標の妥当性 5) 各種法令（都市計画法・下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保荒れている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果が得られるものとなっている。	○

[illegible]